

三鷹市立中原小学校 令和5年度【家庭】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年			
第2学年			
第3学年			
第4学年			
第5学年	<p>【成果】 家庭科ノートやタブレットを活用しながら学習内容を示したり、知識や技能の習得に役立てたりすることができた。</p> <p>【課題】 調理実習や裁縫など計画的に学習を進める必要がある。また、授業のポイントをしっかりと抑えて授業を行わなければならない。</p>	<p>【現状】 初めての家庭科の学習に、どの児童も意欲的に取り組んでいる。生活経験の差が多少はあるが、どの児童も必要な知識や技能を身に付けようと学習に対して前向きである。</p> <p>【課題】 学習したことを自身の生活で生かしたり、よりよく生活していこうとする意識は低い。学習する意味や学習のゴールイメージを明確にできていない。</p>	
第6学年	<p>【成果】 ○家庭科ノートやタブレットを活用しながら学習内容を示すことで、知識や技能の習得に役立てることができた。</p> <p>【課題】 ○学習内容の要点を考えながら学習できるよう、身近な課題や既習事項を生かした課題を取り入れる。 ○食事作りを家庭で行えるように、夏休みの課題として設定した。</p>	<p>【現状】 ○タブレットに夏の過ごし方をレポートさせた。授業で取り組んだことも写真を入れながらまとめることができていた。 ○調理実習では、一人に任せるのではなく、班で協力して行うことができていた。</p> <p>【課題】 ①日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決していけるような単元計画・評価計画を立てるようにする。 ②学習したことを、実生活に生かしていけるようにタブレットを活用して取り組みを写真で撮るなどしていく。</p>	